

第 IV 部

# 參考資料

## 1 神山町総合計画審議会 諮問

神 総 第 482 号

平成21年12月21日

神山町総合計画審議会会長 殿

神山町長 後 藤 正 和

### 第 4 次神山町総合計画の策定について（諮問）

このことについて、平成13年3月に第3次神山町総合計画「あわのまほろば 自然と地域文化が 熱い心を満たす町 神山」を策定し、住みよいまちづくりのために計画の推進を図ってきました。この総合計画が、平成22年度に目標年次を迎えることから、現行の総合計画を検証し、新たな視点と将来展望による新しい第4次神山町総合計画を策定する必要があります。

つきましては、町民と行政が一体となったまちづくりを推進するため、審議会に意見を諮問いたしますので、審議を賜り、答申くださるようお願いいたします。

平成22年11月15日

神山町長 後藤 正和 様

神山町総合計画審議会

会長 森 昌 槻

### 第4次神山町総合計画について

平成21年12月21日付 神総第482号で諮問のあった「第4次神山町総合計画」について、次のとおり答申する。

本町の地域経済は依然として厳しい状況であり、人口減少と少子高齢化が国・県よりも早く進む中で、回復の兆しを見つけれないでいる。

このような現状認識に立ち、産業振興と交流を核にした町の活性化を進めるために“元気”と“地域への誇り”を10年間のキーワードとした。

これは、町民一人ひとりが神山町民であることに真に誇りを抱き、さらに、町外からの移住によって集まる多くの“元気”が一体となって世界に誇る神山町を創造していくまちづくりである。このことを『元気がキラリ 咲き誇る 神山町』という将来像と5つのまちづくりの理念で表した。

地方自治体の財政状況が非常に厳しい中、本格的な地域主権時代をリードする気概を持ち、行政は答申に盛り込まれた目標を達成するよう、組織横断的で効果的な施策の推進を期待する。また、われわれ町民も新たなまちづくりの一翼を担わなければならないと自覚するものである。

次の世代にこの素晴らしい神山町を継承していくために、町民と行政による協働のまちづくりを一步一步進めていくことを願い、本審議会の答申とする。

### 3 神山町総合計画審議会 規定

(設置)

第1条 本町の総合計画を策定するにあたり、重要事項を審査審議するため、神山町総合計画審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 審議会は、次の号に掲げる事項の策定について審査、審議し、その結果を町長に報告また建議する。

- (1) 本町における将来の発展目標及びこれを達成するための施策の大綱を基本的にとりまとめるための基本構想に関すること。
- (2) 基本構想に基づき、本町行政の方向を明確にし、施策を体系づけるための基本計画に関すること。

(組織)

第3条 審議会は、次の号に掲げる者の中から組織し、町長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 関係団体の代表者
- (3) 町議会議員
- (4) その他町長が必要と認める者
- (5) 委員はあて職とし、委員に異動等が生じた場合は、後任者を指定するものとする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に、会長1名及び副会長1名を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、会務を総理し、審議会の会議の議長となる。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。

(会議)

第5条 審議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要と認めるとき随時招集する。

- 2 審議会は、委員の過半数が出席しなければこれを開くことが出来ない。

3 審議は、多数決をもってこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の出席等)

第6条 審議会において、必要があると認めるときは、関係者に対し、会議に出席を求め、意見又は資料の提出等を求めることができる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、総務課において行う。

(その他)

第8条 この規程に定めるもののほか、審議会の運営について必要な事項は、会長が定める。

## 付則

- 1 この規程は、平成21年12月21日より施行する。
- 2 この規程は、総合計画の策定が完了した日に、その効力を失う。

## 6 神山町総合計画 策定経過

年 月 日	会 議 等	主 な 内 容
平成21年9月8日	第1回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画策定委員会設置要綱及び名簿について</li> <li>・全体フローとスケジュール</li> </ul>
平成21年10月6日	第1回策定委員会作業部会代表者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定概要の協議</li> <li>・町民及び中学生アンケート調査項目の協議</li> </ul>
平成21年10月21日 ～11月9日	町民及び中学生アンケート調査の実施	
平成21年12月2日 ・12月4日	現状と課題等について各課ヒアリング トップインタビュー（町長・副町長・教育長）	
平成21年12月21日	第1回計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱状の交付</li> <li>・計画策定概要の説明</li> <li>・審議会規定（案）の承認</li> <li>・会長・副会長の選任</li> <li>・町の現状とアンケート調査結果の協議</li> </ul>
平成22年2月10日	第2回策定委員会作業部会代表者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想（原案）の協議</li> <li>・各種データの収集</li> </ul>
平成22年2月18日	第3回策定委員会作業部会代表者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想（原案）についてのヒアリング</li> </ul>
平成22年3月25日	第2回計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域DVDの視聴</li> <li>・計画策定概要の説明</li> <li>・総合計画（構想原案）の協議</li> </ul>
平成22年4月2日	第2回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗状況の説明</li> <li>・中山間地域DVDの視聴</li> <li>・総合計画（構想原案）の説明</li> </ul>
平成22年6月18日	第4回策定委員会作業部会代表者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画（構想原案）、同（基本計画案）の協議</li> </ul>
平成22年7月1日	第3回計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画（構想修正原案）、同（基本計画案）の協議</li> </ul>
平成22年7月1日 ～7月15日	基本計画について審議会委員からの意見提出	
平成22年7月2日	基本計画について各課ヒアリング	
平成22年9月30日	第4回計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画（構想修正原案）改定、同（基本計画案）の協議</li> </ul>

年 月 日	会 議 等	主 な 内 容
平成22年10月 8日	第 5 回策定委員会作業部会代 表者会議	・ 合計画(構想原案)、同(基本計画案)の 協議
平成22年10月21日	第 5 回計画審議会	・ 総合計画(構想修正原案)改定、同 (基本計画案)の協議
平成22年10月22日	かみやま未来会議 (神山東中学校・17名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町長あいさつ</li> <li>・ 質問・意見発表</li> <li>・ 提案発表</li> <li>・ 町長からの講評</li> </ul>
平成22年10月28日	かみやま未来会議 (神山中学校・18名)	
平成22年11月15日	第 6 回計画審議会	・ 総合計画(構想)、同(基本計画) 答申 案の協議
平成22年11月15日	町長に答申	
平成22年12月21日	町議会にて議決	

## 7 かみやま未来会議

### ～未来の「かみやま」について町長と語ろう～

中学生と町長がこれからの神山について語り合う「かみやま未来会議」が神山東中学校、神山中学校それぞれで3年生を対象に行った。会議では、町長に対する質問や意見、生徒が考えた提案などを発表し、それに対して町長が答えるというかたちで進められた。生徒へは事前説明として自分たちが暮らす神山町の状況から町を知ることを、考えることの大切さを学習し、視点を変えた新しいアイデアで未来の神山町を考えてもらった。





内 容	神山中学校	神山東中学校
開 催 日	H22年10月28日	H22年10月22日
出 席 状 況	生徒：18名	生徒：17名
会議の趣旨		
<p>総合計画を策定する上で、次世代を担う中学生のアイデアを伺うのと同時に、生徒たちが地域（まち）の事を知り、考えることで、地域への愛着を感じ、誇りの形成につなげていくことを目的とする。また、社会科の授業では地方自治を学習するため、「自分たちの住む地域のことは自分たちで決める」ということを演習してもらう。</p>		
事前説明		
<p>未来会議が行われる理由と総合計画について説明し、視点を変えたアイデアで自分たちの提案を考えてもらうようお願いした。</p>		
未来会議【神山中学校】		
<p>①町長からの話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化時代の中で、産業をどうするかが課題となっている。</li> <li>・最近では道路事情が解消され通勤圏となった。</li> <li>・NPOによる活動が盛んで、アートや桜の植樹で魅力を高めている。</li> <li>・他にも地域イベント（七夕まつり、梅まつり、銀杏まつり、桜まつり、シャクナゲなど）</li> <li>・空き家の活用がうまくいっていて、17世帯36名の移住者があった。</li> <li>・今日は楽しみにしているので気楽な気持ちで、活発な意見をお願いしたい。</li> </ul> <p>②生徒からの質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつ町長になったのか？ →2期目が終わろうとしている。1期が4年なので約8年前ですね。</li> <li>・神山の一番好きなところはどこですか？ →全てが好きだが、山・川・歴史・植物・人間など。</li> <li>・神中は地震の時大丈夫なのか？ →大丈夫ではないので、今年度耐震化工事をする事になっている。工事については、授業に支障を来さないように心がけたい。</li> <li>・どうして町長になろうと思ったのか？ →議員も経験してきたが、神山が好きで、どうにかしたかった。</li> <li>・普段はどんな仕事をしているのか？ →文書の決裁、会議への出席、県や国への要望活動が主になる。</li> <li>・休みはどれくらいあるのか？ →元日から予定が入っている。初日の出ウォーク、温泉でのあいさつ、徳島駅伝、出初めなど休む暇はほとんどない。土日は余計に忙しいかも。</li> <li>・坂が多いので自転車通学が危険なのですが……？ →坂が多いのは仕方がない。逆に自分を鍛えてくれていると思い感謝してはどうか！</li> </ul>		

- ・町ではどんなことにお金を使っているのか？
- 多いのは民生費（医療・保育など）他にもいろいろな事に使っている。

### ③神中生の提言

#### A. 農業体験から農業を仕事へ発展計画

耕作放棄地が増えているので、その土地を町が借り受け、そこで若者が給料をもらいながらお米を作る。売ったお米は町の収入になる。雇用にもつながる。また、お米が出来ない土地では動物（烏骨鶏、イノシシ、牛、鹿）を飼育し、二次製品を売る。

→現在町では600haのうち100haが耕作放棄地となっている。それを解消する手だてとしてはいろいろと考えなければいけない。提案では役場がするようになっているが、JAとか(株)神山温泉がするということも考えられる。6次産業化して、それを地産地消できる仕組みを考えていきたい。

#### B. 神山夢タウン計画

老人ホームのそばに保育所と学童を合体させた施設をつくり、その周辺に商店街を作る。商店街では、いろんな店に出店してもらおう。他にも空き家をホテルとして利用したり、子どもが喜ぶレジャーランドを造れば活性化する。

→まずそれをするには資本が必要であり、収支を考えると厳しいように思う。都会の真似をするより、神山らしい空間を創造できればと思う。ただ、お年寄りと子どもが一緒に過ごす空間というのは素晴らしい発想だと感じた。

### ④講評

- ・神山の魅力をみんなの力、発想で作って行って、伝えて欲しい。
- ・積極的にまちづくりに参加して、将来神山のために働いて欲しい。

（先生から）

社会科の授業として今回のような取り組みはとても大切だと感じた。神山のことを知ること、考えることから自分たちの町を好きになって欲しい。

また、町長さんと直接話が出来るとは貴重な体験であった。温泉が農業に参画するという考えは私たちでは想像もつかなかった。生徒の意見に誠実に答えていただき、評価していただいたことをこれからの学習につなげていきたい。

### 未来会議【神山東中学校】

#### ①町長からの話

- ・初めての取り組みで、教室で話すのは緊張感もあるしワクワクしている。
- ・町の歴史について5村の合併、阿波（粟）の里、人口減少と面積の広さ等について説明。
- ・最近森の持つ力などが見直されている。
- ・NPOによる活動が盛んで、アートや桜の植樹で地域が盛り上がりつつある。
- ・他にも地域イベント（七夕まつり、梅まつり、銀杏まつり、桜まつり、シャクナゲなど）
- ・魅力ある地域として情報発信が必要。（光ファイバを活用）
- ・楽しい議論にしていきたい。

## ②生徒からの提案発表

- ・クーラーをつけて欲しい  
→学校と相談して取り組みたい。耐震化工事との絡みもあるが前向きに考えたい。
- ・街灯をつけて欲しい（行者野の北岸）  
→県道であるので県に要望しているが予算の関係で出来ていない。町内で年に数カ所だ。
- ・バス路線を増やして欲しい  
→便数については現状を見ると増便は難しいが、いろいろな方策を考えてみたい。
- ・公共事業を増やして雇用促進を！  
→税金で行うことになるので何でもかんでもは難しい。これからは知恵を出してビジネス視点も取り入れ事業を進めたい。
- ・車での移動販売をしてあげてはどうか？  
→過疎化、高齢化で売れなくなっている。病院等への問題もあるので福祉タクシー助成を検討している。
- ・お店を増やして欲しい。大型スーパーがあれば便利なのに？  
→マーケティング調査をしても難しいと思う。広野地区は不便ではないと思っている。
- ・森林公園のような自然とふれあえる場所を増やしてはどうか？  
→町全体を自然として捉えて欲しい。公園を造るのにはコストと時間がかかる。

## ③質疑・応答

- ・学校の統合問題は？  
→今は定住施策による解決を望んでいる。
- ・広野の道路整備についてはどうなっていますか？  
→多に川の所は取り組む予定。北岸については、優先順位があり馬喰草などはすぐには厳しい。
- ・汽車は通らないのですか？  
→利用者が少ないので厳しいと思う。
- ・バリアフリー施設はどれだけありますか？  
→役場、改善センター、広野支所、上分支所、温泉などでエレベータがある。
- ・大きな店があればいいと思うができませんか？  
→需要があればだが………今はできないと思う。

## ④自分たちが取り組むこと

- ・エコ活動として、鮎喰川の清掃活動やアドプト活動、花いっぱいの町になるように積極的な活動に参加したい。
- ・地域イベントに中学生も参加して手伝ったり盛り上げたりしたい。
- ・あいさつ運動に取り組み、町に元気を生む。
- ・町のいいところをいろんな人に伝えたい。

## ⑤講評

今日は非常に頼もしい意見をいただいた。人・景観が美しいまちづくりを目指してがんばりたい。また、みんなの意志が神山を良くするし、良く育つと思うので積極的な参加をお願いします。